

## 関西支部主催「見学会&セミナー」の報告

開催日時：9月18日(木) 14:00~17:00

見学先：兵庫県立工業技術センター(技術交流館)

参加者：11名

兵庫県立工業技術センターは1917年に創立された中小企業を支える開かれたものづくり技術支援機関です。公設試験研究機関は地域の産業振興のため、企業への技術指導、依頼試験・分析の受託・共同開発等を行う支援機関で「公設試」は全国に約60ある日本独自の機関とのことです。

平瀬次長様から最近の開発支援事例として「淡路瓦の付加価値向上として“黒いぶし”のブランド化の取組み」、「軽く感じるランドセルについて人間工学的な観点から分析評価の取組み」、「調湿・消臭効果が持続する辰山石を粉末にしてセメントで固める製法でタイル量産化の取組み」、「靴下の保温性能調査」などご紹介いただきました。

見学では、人の動作や技能をデジタルヒューマン技術によりデータ化する装置やDHS-GC-O/MSIにおける分析装置の見学、新規導入した水素透過率・拡散係数測定装置をわかりやすく説明していただきました。

後半のセミナーでは酢谷講師から当センターの包装試験(落下試験機、圧縮試験機等)の特徴、紙関連試験(ガーレ式デンソメーター)の測定事例とガス透過試験について説明いただきました。特に水素バリア測定については全国で2センターのみで西日本では当センターだけとのことでした。3時間の短時間事業でしたが、参加者から多くの質問が寄せられ、質疑応答も予定時間を延長して続き、大変有意義な事業になりました。

### ◆概要説明(平瀬次長様)



### ◆デジタルヒューマン&モーションキャプチャーなど人間工学測定機器見学



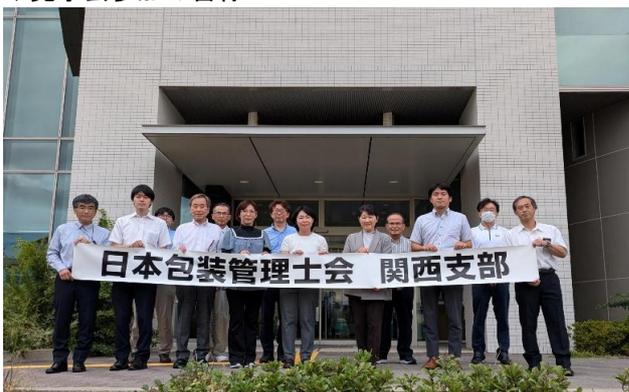
### ◆おのの分析装置見学



### ◆水素透過率・拡散係数測定装置の見学&セミナー(酢谷講師)



### ◆見学会参加の皆様



### ◆交流会参加の皆様

